

からお年寄りまで の大縦路に302人

づくり町民歩け歩け大会

わたし絶好調よ！

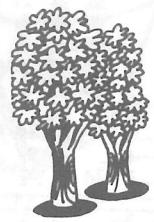
さあスタートだ！
「10kmなんて
かるい、かるい」

親子のきずなを
しっかりと結んで頑
張ります。



九月十八日、曇り空の日曜日。「町民歩け歩け大会」が行われました。海洋センターを出発し、坂田城あとを巡る10kmの「ウォーキング・ラリー」に参加したのは、子供からお年寄りまで三〇二人。地図を頼りに課題を解きながら、大縦路をのんびり歩く『地域再発見』のゲームに、広報マンもカメラ片手に参加してみました――

ひろば



俳壇



漁舟濃霧の底となりにけり
成田 慶子

髭剃られをりだしぬけの威し銃
宇井 芝童

新涼や庭師の捌く棕櫚の繩
津田 若菜

新涼のはにわやさしき目鼻だら
鈴木 南知

鰯漁脛に鱗の乾きけり
北田 ふじ

サハリンの空騒がしき晩夏光
海保 きみ

ピーマンが熟れて陶器の如光り
吉岡 信子

鱈雲大韓の飛機波に散る
秋葉 とく

友遊しことを知りたる同窓会年
成田 慶子

毎に集ひは小さくなりゆく
吉岡 信子

また逢ふ日誓ひかねつ別れきぬ
吉岡 信子

病院の庭に真夏陽もゆる
吉岡 信子

夜を徹し粋乾燥の間なき音すだけ
伊藤 美穂

る虫の音もまじへつつ
伊藤 美穂

皺みたる腕をば手もて伸ばしなき
伊藤 美穂

いつしか七十路越えるつ吾の
伊藤 美穂

生きることの重さかみしめ鍋焼く
向後 雅子

実らざる涙に刈られし青稻の強さ
齊藤 寛次

香をたつ真陽の強さに
若梅あやめ

の腸病みがちになべて老いづく
齊藤 寛次

日の匂ひして露地植のトマトかな
吉岡 信子

生きることの重さかみしめ鍋焼く
向後 雅子

実らざる涙に刈られし青稻の強さ
齊藤 寛次

香をたつ真陽の強さに
若梅あやめ

生きることの重さかみしめ鍋焼く
向後 雅子